

# 小学校で外国語を教える心構え

先生  
が  
楽しむ

児童  
に  
伝わる

先生も  
児童も  
達成感

記憶  
に  
のこる

## 何よりも先生自身が楽しむこと

先生の「英語に対する不安」は児童にも伝わってしまいます。逆を言うと先生がいっきりに楽しめば、児童も英語の授業が楽しくなるのです。

発音などに気を遣いすぎず、正しい英語を使わなければと気負いしすぎず、まずは先生自身が堂々と楽しむ！！これこそが、イキイキとした授業づくりの第一歩です。

## まずは褒め言葉や簡単な指示から英語を

英語を学ぶ楽しさを伝え、「もっと英語を話したい！伝えたい！学びたい！」という児童のやる気を引き出すためには、やはりプラスの言葉が大切です。難しい英語を使う必要はありません。Good job!やExcellent!などの褒め言葉を、授業の中にたくさん散りばめましょう。身ぶり手ぶりや表情をつけるとより効果的です。

## 日本語をつかってはいけなの？

児童の特性をとらえ、より効果的な発問や支援ができるのはやはりHRTです。場面や目的、状況を考え、英語の必要性を損なわない程度に日本語もぜひ活用してください。

### 【日本語を効果的に使うコツ】

- 学級運営の視点から、個別の支援・ユーモアやジョークで和ませたい時
- 理解不足を補ったり、より具体的に児童を褒めたい時
- 児童から授業における気づきを引き出したり、授業のふりかえりをする時



児童のやる気を引き出す  
活発な授業展開のために

- 児童の興味をそそる題材選び
- 歌やチャンツ・絵本の活用
- 他教科と関連させた組み立て
- ペア・4人程度のグループ活動